◎ 死別の分かちあいの集い(予約・参加費不要)：13時～15時

・伴侶：毎月第１土曜日（11/7、12/5、1/2、2/6、3/5）

・自死：毎月最終土曜日（11/28、12/26、1/30、2/27）

◎ 浄土真宗基礎講座(兼 超覚寺女子会定例会)：13時～14時

毎月２８日（御開山 親鸞聖人の御命日）に開催しています。

今後の開催日⇒12月28日（月）、1月28日（木）

11月は報恩講があるので休会します。

◇ 寺院護持費（墓地管理費）について

遠方の方々は、どうぞ下記口座をご利用ください。

【ゆうちょ銀行　１５１９０－５５７７０６０１】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は次の内容をご指定ください。

【店名】五一八（ゴイチハチ）【店番】５１８（普通）５５７７０６０

◇ 報告・連絡・“僧”談

立場上様々な相談事をお聞きしますが、近年多くなっているのが、息子さん娘さんの縁談についてです。結婚する・しないは個人の価値観に寄るものですから善し悪しは決められませんが、私は結婚して本当に良かったと感じているので、どなたも結婚してほしいと願っています。そこで超覚寺に集まっての【お見合い】ができないかと思案しています。

お寺でそんなことまで・・・と思われるかもしれませんが、仏教はお葬式や法事をするための宗教ではなく、お釈迦さまや宗祖の教えを広く伝えていくのが本来です。そんな中で、大切なことが伝わって実践していく「御縁」の一つが、結婚なのだと思います。

詳細が決まり次第また寺報にて掲載します。関心のある方はぜひ御連絡ください。

発行人：超覚寺住職　釈隆恩(和田隆彦)　　(*￣-￣)人 i～ 合掌

2015年11月報恩講 超覚寺報 第19号

【八丁堀だより】

真宗大谷派（東本願寺）

林嶺山 憶西院 超覚寺

RIN-OH-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI
〔since 仏暦2002，西暦1619，元和5〕

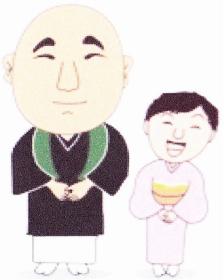
〒730-0013　広島県広島市中区八丁堀 5-2
Tel　：082-221-1234；090-9999-3113
Mail　：wada@namuamidabutsu.com
HP　：http://www.namuamidabutsu.com

超覚寺 秋&冬の法要 のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、ありがたく存じます。
さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(_ _)>

◎ ２０１５年 報恩講（ほうおんこう）法要

１１月２１日（土） 10時～ 勤行（住職）



10時半～ 法話（真宗高田派 浦上哲也師）
12時～ 御斎(おとき)
13時～ 市内住職出仕勤行
14時～ 朗読劇（浦上智子師・浦上哲也師）
「よきひと、親鸞 恵信尼ものがたり」

9年前の“茉莉花”に浦上夫妻がご紹介されていました。中央のページに掲載しています。今回は報恩講なので、「恵信尼ものがたり」をお願いいたしました。

◎ 成道会（じょうどうえ）＆帰敬式（ききょうしき）

１２月８日（火） １２時～ 勤行・帰敬式

帰敬式とは、仏さまの教えを大切に生きていくことを誓い、正式な法名をいただく「お髪剃り」の儀式です。

御家族が先に受式された方や合同墓へ生前予約された方など、自分も受式したいという方のために、お釈迦様が悟りを開いた日に帰敬式を執り行います。受式を希望される方は是非お早めに御連絡ください。

法名は、住職と相談しながら御自身で決めていただこうと思います。

☆ 【 お葬式は、どこですべきでしょうか？ 】

“終活”という言葉が生まれて数年が経ちました。今では家族葬が当たり前になり、家族葬専用の葬儀会館が増えました。また、大都市では火葬場での直葬も少なくありません。様々な形のお葬式が増えましたが、各々特徴や事情があるので、どこが一番かなんて決められません。家族葬専用の葬儀会館は割安なように見えて経費はそう変わらないため、実は大ホールで行うお葬式と値段がほとんど変わりません。

阿弥陀様の前で今生のお別れが出来て、御家族の心のケジメがつけられれば、場所はどこでも構わないと思います。しかし、私個人の見解で優先順位をつければ、**【 御自宅 ≧ お寺 ＞ 葬儀会館 » 火葬場 】**になります。

負担や迷惑を掛けたくない・・・と家族葬が増えましたが、本来お葬式は、故人を本当に弔うお気持ちの人がお参りすればいいのですから、お付き合いで参る一昔前のお葬式が過剰だったのです。ですから、親類縁者だけであれば、御自宅のお内仏（お仏壇）の前でお葬式を執行するのが最善だと考えます。もし仏間が狭いようであれば、超覚寺の本堂をお使いください。御自宅やお寺でのお葬式は不要な出費が無く、経費的にも一番抑えられます。何より最も厳かな和やかなお葬式が出来ます。家族葬こそ、御自宅かお寺でお勤めいただきたいと願っております。

◇ 来年２０１６(平成２８)年の御法事をご確認ください。

- ***2015(平成27)年： 1周忌***
- ***2014(平成26)年： 3回忌***
- ***2010(平成22)年： 7回忌***
- ***2004(平成16)年：13回忌***
- ***2000(平成12)年：17回忌***
- ***1992(平成4)年 ：25回忌***
- ***1984(昭和59)年：33回忌***
- ***1967(昭和42)年：50回忌***

お勤めは、ご自宅でもお寺でも大丈夫です。希望日時をお早めにご連絡ください。念のため、境内墓地通路脇の案内板に該当者名を掲示してあります。

金子みすゞ　ひとり舞台
いのちへのまなざし

保谷 果菜子（ほうや かなこ）

舞台女優

本名　浦上智子（うらかみ　ともこ）。
演劇集団「円」養成所卒業後、劇団「10%ファクトリー」結成。その後劇団「三原塾」のロシア公演や松井誠東京公演への客演などを経て、劇団「方南ぐみ」所属。その後フリーで活動。平成14年に真宗高田派僧侶、浦上哲也と結婚。

HPアドレス
http://www004.upp.so-net.ne.jp/kanakana/
メールアドレス
kanakana@sd5.so-net.ne.jp

童謡詩人金子みすゞをご存じの方はたくさんいらっしゃることでしょう。最近では小学校の教科書にも載り、多くのお子さんたちがみすゞさんの詩を学んでいます。また絵本になったり、曲を付けて歌になったり、舞台化、ドラマ化、映画化もされています。茉莉花でも何度か取り上げられていましたね。

私とみすゞさんとのご縁は、主人が買って来た1冊の本でした。主人は真宗高田派の僧侶で親戚のお寺にお勤めしていますが、勉強のために通っていた築地本願寺の東京仏教学院でみすゞさんの詩に出逢ったのだそうです。私は「大漁」という詩を読んだときに「はっ！」と気づかされました。

～大漁～
朝焼小焼だ　大漁だ
大羽鰮の　大漁だ。
濱は祭りの　やうだけど
海のなかでは　何萬の
鰮のとむらひ　するだらう。

毎日いただいている食事、そのいのちの事など一度たりとも考えたことがあるだろうか…。「いただきます」をそのいのちたちに言ったことがあっただろうか…。恥ずかしさとともに、もっともっとみすゞさんの詩を知りたいと思いました。みすゞさんの詩はなんて自然に私の心にすーっと染みこむのでしょうか。

仏教というと、最近では残念なことに葬式仏教と言われる事もあり、また法要やお寺の行事に参加されるのは、いつも固定のメンバーで年配の方々がほとんど。

私は役者をずっと続けてきましたので、何か私なりにお寺で活動できることはないだろうかと考えていました。昔は、人が集まる所、それが「お寺」だったはずです。普段お寺にいらっしゃらない方や若い方、子供たちにお寺に来て頂きたい。そして結びついたのがみすゞさんのひとり舞台だったのです。お芝居ということでお寺に親しみや興味を持って頂けないだろうか。そしてみすゞさんの詩を通して小さないのちや弱いいのち、仏教について考える機会になってくれればこんなに嬉しいことはありません。

お寺の本堂での公演の様子

『金子みすゞ　いのちへのまなざし～詩と歌と物語～』と題して、私がみすゞさんを演じ、詩を語ります。どこでも出来るようにセットはイス2つとテーブル2つだけ。照明はなし、音楽は持ち運びできるスピーカーで主人が操作する、というシンプルなものにしました。

平成十六年の夏に主人がお勤めしている横浜の成就院で初舞台を踏み、その後ご縁を頂いたお寺のご本堂などで公演させて頂いています。主人とともに様々なお寺を訪れる度に、みすゞさんがみんなに愛されているんだな、としみじみ感じます。また仏教系の中学校でも一度上演させていただきました。その時の感想文で「金子みすゞさんの詩をもっと読んでみたくなりました」と多くの生徒さんが書いてくれました。何かのきっかけになっている、心の針が少しでも振れている、やってよかったと心から思いました。

みすゞさんの詩は心優しいものばかりです。まだご存じのない方は是非一度読んで見て下さい。心がほかほかしてきますよ。

ご主人と一緒に

最後に、みすゞさんに、そしてみすゞさんの関係者に、この場を与えて下さった茉莉花さんに、茉莉花を読んでいらっしゃる方々に、公演をさせて下さるお寺さんに、見に来て下さる皆さんに、支えて応援してくれるまわりの方々に（どんどんたどっていくと全ての方にですね）、そして主人に贈ります。「有り難う」を。

◇ “寺”後報告

① 秋季彼岸会法要 ＋ 八丁堀寄席

9月23日には50名がお参りされました。全員で読経し、私のお葬式談を聞いていただいた後、おぜんざいを召し上がっていただきました。そして、いよいよ桂文鹿師匠の落語。今回は、古典「巡業から帰った関取の噺」と、新作「健康ランドの噺」の2本でした。落語はもちろん、マクラの話もスゴク面白くて、涙流して笑いました。

②節談説教布教大会in広島

10月14日に広島市東区民文化センターで開催され、約250名がお参りくださいました。私は2番目に登壇し、「西行法師出家の因縁話」を披露しました。平座の本堂ではなく階段状のホールなので勝手が違いましたが、大人数に対してのお説教、勉強になりました。

◎ 東本願寺お煤払い奉仕団

１２月１９日（土）１１時 ～ ２０日（日）１６時頃

御影堂などにたまった１年分のホコリを竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎ出し、新しい年を迎える準備を行います。これまで東本願寺を守ってこられた人々の願いにふれ、全国のお同行と共に自身の生活の在り方を確かめます。

今年は東本願寺境内の同朋会館に一泊し、講義・座談・諸殿拝観・東本願寺本堂の清掃奉仕等で過ごします。全国各地の真宗門徒の方々との語らいも楽しいものです。寒い時期ではありますが、年に一回しかない機会。東本願寺への冥加金(食事代込み)は**１万円**です。

参加者募集中ですので、関心のある方は是非お早めにご連絡ください。

◎ 超覚寺門徒 ２０１５年 総追弔会 兼 永代経法要

１２月２８日（月）１３時～１３時３０分 勤行・法話

今年最後の法要です。阿弥陀様やご先祖様に、この1年間を 無事に過ごせたことを感謝すると共に、その仏徳を讃えます。法要後は茶話会を開きますので、お互いの想いを共有いたしましょう。有縁の方々はどうぞお参りください。

終了後に仏具のお磨きをします。ご都合の良い方は残ってお手伝い頂ければと思います。ワイワイしゃべりながら作業するのは楽しいものです。

◎ ２０１５年修正会法要

1月1日（金・祝）６時～、８時～、１０時～、１２時～、

1年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀様にご挨拶申し上げましょう。住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めます。お墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。